



国立大学法人

東京海洋大学

Open Campus 2023 Autumn

品川キャンパス

対面イベント案内パンフレット

海洋生命科学部・海洋資源環境学部

10/22（日）10:00～16:00（受付 9:30～15:30）



【事前登録】

OCANs より

会場予約（10月13日（金）16:00から受付開始）をお願いします。

本イベントは個別申込制のため、
対象者（中高生など）は個人で申込・予約を行ってください。
付き添いの方がいる場合は**同伴者の人数**を入力してください。

URL

<https://www.ocans.jp/kaiyodai?fid=GBuiNIQI>



各プログラムは、入退場自由です。
興味のあるプログラムに、ご自由にご参加ください。

※一部、**事前予約制**のイベントや**当日先着順**のイベントがありますのでご確認ください。

※対面イベント以外にも、**Liveイベント**や**オンデマンド**の動画も配信しています。ぜひご参加ください。

※2023秋の対面式オープンキャンパスは、品川キャンパスのみ実施します。
海洋工学部 オンライン オープンキャンパス に参加をご希望の方は、
上記OCANs よりLiveイベント（10月29日（日））へお申込みください。

【連絡事項】

1. イベントについて

- ①オープンキャンパス参加者は、まず**総合受付**にお越してください。
受付で大学ガイドブックや会場案内図、限定ノベルティ等をお渡しします。
参加される方は**入場券（OCAN s システムより予約）**の確認をいたします。付き添いの方以外は、個人でお申込み・予約の上、お越してください。
- ②一部**事前予約制**のイベントや**当日先着順**のイベントがございます。定員を満たした場合は参加できませんので、ご了承ください。
- ③一部イベント以外は、同伴者もプログラムに参加可能です。
- ④当日は多くの方の来校により混雑が予想されます。参加者が多いプログラムでは、満席となり人数を制限したり立ち見となる場合もあります。
- ⑤オープンキャンパスのイベントが行われていない教室や建物には入らないようご注意ください。
- ⑥イベント内容は、変更になる場合がございます。更新した情報は、本学ホームページにてお知らせいたします。

2. 参加者アンケートについて

ご帰宅の前に**参加者アンケート**にぜひご協力ください。当日アンケートにご回答いただいた方限定で、総合受付にて**本学オリジナルグッズ**をプレゼントします。

3. その他

- ①気分が悪くなった場合は、本学教職員またはオープンキャンパススタッフにお申し出ください。
- ②ご不明な点、落とし物・忘れ物など、何かございましたら、総合受付までお越しください。
- ③駐車場及び駐輪場はありませんので、ご来場の際は**公共交通機関**をご利用ください。
- ④当日、本学ホームページや参加団体のホームページに掲載するため、各プログラムの様子を撮影することがあります。（参加者の顔は写りません）
- ⑤こちらの「対面イベント案内パンフレット」は、資料として当日配布することはありません。当日配布する資料の中に、「対面イベント案内パンフレット」ダウンロード用QRコードがありますので、**Web上**でご利用ください。（紙媒体を使用したい方は、お手数ですがご自身で印刷してご持参ください。）

海洋生命科学部

【海洋生物資源学科】

イベント等	時 間	内 容	会 場
模擬講義	10:00~ 10:30	<p>サバからマグロは生まれるか？（事前予約制）※1 矢澤 良輔 准教授 水族生理学研究室</p> <p>小型のサバの仲間がクロマグロを産んでくれたら、大型で成熟までに時間がかかるうえ、準絶滅危惧種にも指定されているクロマグロの養殖を飛躍的に簡便化することが可能です。卵や精子のおおもとの細胞である生殖幹細胞を操作することでこれが実現に近づいています。本講義ではその原理と将来展望を紹介します。</p>	白鷹館 1階 講義室 ※2 講義棟 2階 22番講義室
	11:00~ 11:30	<p>タコ類の人工繁殖技術と生態解明研究（事前予約制）※1 團 重樹 准教授 増殖生態学研究室</p> <p>タコ類は重要な水産資源ですが、海の中でどのように生活しているのか、その生態には不明な点が多いのが現状です。海で発見することが難しいタコ類稚仔の生態を解明するためには、水槽内で産卵させ、ふ化した稚ダコを飼育する技術が必要となります。本講義では、タコ類の人工繁殖技術について説明するとともに、行動実験から明らかになったタコ類稚仔の生態を解説します。</p>	
	13:00~ 13:30	<p>魚類の遊泳行動の計測と解析 計測から何が分かるか？（事前予約制）※1 宮本 隆典 助教 魚群制御学研究室</p> <p>限りある海の資源を守るために、効率的かつ魚を獲りすぎない漁業を行うには、まず魚の行動についてよく知る必要があります。しかし、陸上に比べて光が届きにくい海中での魚の行動の計測および解析は簡単ではありません。本講義では、海中での魚の行動を計測・解析する技術について紹介します。</p>	
研究紹介・ 実習紹介・ パネル展示	13:00~ 16:00	<p>海洋生物資源学科 研究室紹介 海洋生物資源学科の各研究室</p> <p>海洋生物資源学科の様々な研究室で行なっている海の生き物に関する研究について、学生がポスターやパネルを使ってご紹介します。</p>	白鷹館 2階 多目的ス ペース

- ※1 海洋生物資源学科の模擬講義は予約制です。（定員なし）
参加される方はOCANsより各プログラムの予約をお願いいたします。（当日申込も可能です）
- ※2 模擬講義の会場について、参加対象者（中高生など）は白鷹館1階講義室で現地参加となります。
同伴者は、同時間で講義棟2階22番講義室にて、パブリックビューイングでご参加いただけます。

海洋生命科学部

【食品生産科学科①】

イベント等	時 間	内 容	会 場
模擬講義	14:15~ 14:45	魚介類の鮮度を科学する 濱田奈保子 本講義では、「鮮度の良いとは、どういうことなのか？」から、科学的な鮮度評価および鮮度保持方法、さらには鮮度の「見える化技術」についてまで、私達の研究成果を踏まえてお話しします。	白鷹館 1階 講義室
	15:00~ 15:30	冷凍食品から宇宙食・冷凍人間へ 萩原知明 冷凍食品の研究をしていたら、宇宙食に応用できたり、冷凍人間が実現するかもしれないという壮大かつ真面目な話をします。	
体験学習	10:00~ 14:00	低温の不思議 ～超低温と過冷却～（事前予約制・各回20名）※1 食品冷凍学研究室 物質を低温にすることで起こる不思議な現象を題材に幾つかの実験をお見せして、それが最新の食品科学とどう関係しているのか、について解りやすくお話しします。 1セッション30分。当日キャンセルが出た場合、飛び入り参加可。 （開始時間に会場で問い合わせてください） ①10:00-10:30 ②10:30-11:00 ③11:00-11:30 ④11:30-12:00 ⑤13:00-13:30 ⑥13:30-14:00	3号館 1階 121実験室

※1 食品生産科学科の体験学習は予約制です。（各回20名）
 参加される方はOCANsよりプログラムの予約をお願いいたします。（空きがあれば、当日申込も可能です）

海洋生命科学部
【食品生産科学科②】

イベント等	時間	内容	会場
実習紹介	10:00~ 14:00	食品生産科学科実習紹介（写真と製品展示） 柴田 真理朗 准教授 食品生産科学科の実習に関するご質問を教員および学生がお受けします。実習風景は大型モニタで映され、実習で製造された製品（缶詰等）も展示されます。	3号館 1階 渡り廊下
研究紹介・ 実習紹介・ パネル展示	10:00~ 14:00	食品生産科学科スタンプラリー 柴田 真理朗 准教授 食品生産科学科の模擬講義、体験学習、研究紹介でスタンプを集めた方にオリジナルノベルティを差し上げます。	3号館 1階 渡り廊下
	10:00~ 14:00	時を止める魔法、それが冷凍 食品冷凍学研究室 食品冷凍学研究室で行っている様々な研究内容を説明するポスターと、実際の実験機器を見て頂けます。また所属学生が、研究内容に関することや大学での生活等についてご質問にお答えします。	3号館 1階 118実験室
	10:00~ 14:00	海洋生物がもつ不思議なはたらきを利用する 生体物質化学研究室 最新の研究で明らかになった海洋生物の不思議な成分とその実用化の一端を紹介します。	3号館 3階 320実験室
	10:00~ 14:00	生命科学の最前線 - アレルギーからD-アミノ酸まで - 食品衛生化学研究室 魚介類やその寄生虫によるアレルギーあるいは化粧品や医薬品などの化学物質によるアレルギー、はたまたエビの食味向上やイカのD-アミノ酸に至るまで、私たちが取り組んでいる多種多様な最新の研究をパネルで紹介します。	
	10:00~ 14:00	海の「美味しさ」と「健康」を科学する 食品栄養化学研究室 食品栄養化学研究室は食品のもつ栄養機能性に関する研究や、酸化的劣化、呈味有効成分の分析などを各種機器分析や細胞・動物を用いて行っています。海の「美味しさ」と「健康」を科学している研究内容についてポスター展示にて紹介します。	3号館 3階廊下
	10:00~ 14:00	食中毒菌の迅速検査と増殖制御技術 食品微生物学研究室 食中毒菌の迅速検査と増殖制御技術について解説します。	3号館 4階 422実験室
	10:00~ 14:00	低・未利用水産資源の高付加価値化技術の開発 食品加工学研究室 かまぼこや可食性フィルムなど、低・未利用水産加工原料を生かした、水産食品加工業界の現場に近いところでの私たちの最新の研究内容を紹介します。	3号館 1階 102実験室

海洋生命科学部

【海洋政策文化学科①】

イベント等	時 間	内 容	会 場
模擬講義	10:45~ 11:15	<p>「台湾海洋大学」と「東京海洋大学」による森川海体験交流会について 佐々木剛教授</p> <p>海洋リテラシー教育が世界的に重要視されています。本講義では、東アジア各国における海洋リテラシー教育の現状と東京海洋大学海街コミュニティ・スクールと台湾海洋大学が共同で取り組む「日本台湾森川海体験交流会」について台湾での活動ビデオを交えてお話しします。</p>	図書館 1階Shoal Room
	13:15~ 13:45	<p>人と地域をつなぐ「緑のさかな」－連携による海の持続可能性の追求 川邊みどり教授</p> <p>日本には、資源管理型漁業や、生産を支える藻場や干潟の保全、さらには河川上流域の植林にまでも取り組む漁協や漁業者団体がいくつもあります。こうした漁業で生産され、その価値を認める流通によって消費者に届けられる水産物「緑のさかな」について、事例と共に紹介します。</p>	
学生教員懇談会	10:00~ 10:30	<p>海洋政策文化学科は、どんなところ？ 柿原泰海洋政策文化学科主任・その他学科教員</p>	
	15:15~ 16:00	<p>海洋政策文化学科の「学び」について説明し、来場者の皆さんからの質問に教員と学生がお答えします。</p>	
実習紹介	11:15~ 11:45	<p>海洋政策文化学科の実習の紹介 千足耕一教授</p>	
	13:45~ 14:15	<p>1年生の専門導入のための実習をはじめ、マリンスポーツ、水産業、海洋政策、地域社会、水圏環境教育に関する海洋政策文化学科の実習を紹介します。※各回とも内容は同じ。</p>	
卒論・ 研究室紹介	11:45~ 12:15	<p>海洋政策文化学科の研究室と卒業論文の紹介 工藤貴史教授</p>	
	14:15~ 14:45	<p>海洋政策文化学科には様々な観点から海と人・社会の関係を学ぶ研究室があり、そこで学んだ卒業生の卒業論文を紹介し、本学科の学習・研究内容について具体的に説明します。</p>	

海洋生命科学部

【海洋政策文化学科②】

イベント等	時 間	内 容	会 場
オープンゼミ	11:00~ 11:30	国際海洋政策について（会場先着順・10名） 猪又秀夫教授 このオープンゼミでは、国際的な海洋問題（例：漁業、海洋プラスチック）について、その背景や対応について簡単に紹介するとともに、それら問題を理解するためには人文社会科学（文系）と自然科学（理系）の両方の考えが必要なることを説明します。東京海洋大、特に海洋政策文化学科でどのように学ぶかの参考にして下さい。 ※ゼミの対象者は主に受験生（高校生、既卒生）	図書館 1階 多目的室
	14:00~ 14:30	言語と社会の関係について考えよう（会場先着順・10名） 今村圭介准教授 言語と社会は密接に関係しているものです。住む地域によって異なる地域方言や、職業や年齢などによる社会方言があり、同じ日本語でも集団が異なれば違いが見られます。漁師や船乗りにも、また学生集団にも特有の言葉があります。そのような言語の違いがどのように形成されているのか、一緒に考えてみましょう。 ※ゼミの対象者は主に受験生（高校生、既卒生）	
学科入試案内	10:30~ 10:45	海洋政策文化学科の入試について 高橋周准教授	図書館 1階Shoal Room
	12:45~ 13:00	海洋政策文化学科で実施している一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜について説明します。※各回の内容は同じ。	
進路紹介	12:15~ 12:45	海洋政策文化学科卒業生の進路について 中原尚知教授	図書館 1階Shoal Room
	14:45~ 15:15	海洋政策文化学科を卒業した皆さんの就職先や進学状況について紹介します。※各回の内容は同じ。	

海洋資源環境学部

【海洋環境科学科①】

イベント等	時 間	内 容	会 場
模擬講義	10:00~ 10:30	<p>為になるプランクトンの話 片野 俊也 准教授・浮遊生物学研究室</p> <p>プランクトンは、様々な海の生き物を支えています。海の動物が何を食べているか、たどっていくと多くの場合プランクトンに行き着きます。最近では、ある種の植物プランクトン（微細藻類）を使って貝を育てる試みもあります。その一方で、海で赤潮を起こし、魚や貝などを殺してしまうこともあります。本当は皆さんの生活にも関わりがあるプランクトンについて、その役割や海での分布などについて紹介します。</p>	講義棟 1階 大講義室
	13:00~ 13:30	<p>衛星観測ビッグデータで紐解く地球環境変動メカニズム 溝端 浩平 准教授・海洋物理学研究室</p> <p>海面水温分布、海氷分布、植物プランクトン分布など身近になってきた"衛星観測によるビッグデータ"は、地球環境の変動メカニズムの解明において不可欠な存在になっている。本講義では、①観測原理、②衛星観測網によるビッグデータを用いて紐解かれてきた地球環境変動に関する諸課題、③社会的要請も含めた今後の展望と課題について紹介する。</p>	講義棟 1階 大講義室
オープンラボ	13:00~ 15:00 随時	<p>クラゲと海の生物 石井 晴人 准教授・海洋生態学研究室</p> <p>海洋生態学研究室で行われている研究を実験室で紹介いたします。特にクラゲ類については、飼育個体や固定標本などを観察することができます。</p>	8号館 1階 101号室
	13:00~ 16:00 随時	<p>魚の健康バイオセンシング～さかなの気持ちを知ることは可能か？ 遠藤 英明 教授・呉 海云 准教授 生物機能利用学</p> <p>魚にもヒトと同様に「気持ち」という感情があるのでしょうか？当研究室では、「バイオセンサ」という先端技術を駆使して、その解明に取り組んでいます。今回はバイオセンサの原理について解説し、実際のシステムや実験水槽などを見せながら、魚の気持ちをどのように探求しているのかを紹介いたします。</p>	3号館 2階 218号室
	13:00~ 15:00 随時	<p>水圏生態化学研究室の紹介 永井 宏史 教授・神尾 道也 教授 水圏生態化学研究室</p> <p>海洋生物が持つ化学物質の研究を行う実験室を公開します。</p>	9号館 4階 414号室

海洋資源環境学部

【海洋環境科学科②】

イベント等	時 間	内 容	会 場
研究室紹介	10:40~ 14:50	<p>海洋生物学系の「学生による研究紹介」 (会場先着順・各回120名) 海洋生物系研究室群 (とりまとめ：鈴木秀和 教授・神尾道也 教授)</p> <p>海洋生物学系の研究室を二つのグループに分けて紹介します。 ① 無脊椎動物学、水圏生態化学、底生動物学、生体機能利用学、個体群生態学、鯨類学 ② 藻類学、海洋生化学、浮遊生物学、海洋生態学、魚類学</p> <p>講義棟 3 階 3 2 室：①10：40～ ②13：40～ (各回先着120名) 講義棟 3 階 3 4 室：②10：40～ ①13：40～ (各回先着120名) ※各回60～70分程度、途中入退室可。 ※各回とも内容は同じです。</p>	講義棟 3階 32番・34番 講義室
	11:30~ 13:40	<p>海洋学系の「学生による研究紹介」 (会場先着順・各回120名) 海洋学系研究室群 (とりまとめ：宮崎奈穂 助教・橋浜史典 准教授)</p> <p>海洋学系の研究室を二つのグループに分けて紹介します。 ① 生物海洋学、化学海洋学、環境測定学 講義棟 4 階 4 2 室：11:30～ 13:10～ (各回先着120名) ② 資源環境動態学、地球科学系、海底微生物学 講義棟 4 階 4 4 室：11:30～ 13:10～ (各回先着120名)</p> <p>※各回30～40分程度、途中入退室可。 ※各回とも内容は同じです。</p>	講義棟 4階 42番・44番 講義室

海洋資源環境学部

【海洋資源エネルギー学科①】

イベント等	時間	内容	会場
模擬講義	11:00~ 11:30	図らずも測れてしまっている地震や津波など 稲津 大祐 准教授 緊急地震速報は、多数の高感度な地震計の維持によって成り立っています。1人1台は持つ携帯電話は通常は通信のためのものでありますが、これが意外と地震観測ネットワークにも使えてしまいます。海には船舶が多く航行しています。通常装備の船舶の発信情報（AIS）によって、津波が測れてしまっていることも紹介します。	講義棟 1階 大講義室
	14:00~ 14:30	AIによる洋上風力発電事業における作業船の運航可否予測 吳 連慧 助教 洋上風力発電事業では、多種多様な船舶が活用されます。安全性確保と施工計画の立案には、運航可否の事前予測が極めて重要です。この講義は、AI技術を用いた洋上風力発電事業における作業船の運航可否の予測手法を紹介します。	講義棟 1階 大講義室
体験学習	10:45~ 11:15	海と超電導 ～極限環境への誘い～（事前予約制・各回12名） ※1 井田 徹哉 教授 超電導は極限環境（極低温・強磁場）を必要とする代わりに高い出力を得られるため、海洋での利用に適しています。東京海洋大学の研究チームが産学共同で開発試作した回転機を紹介するとともに、強磁場や液体窒素を使ったデモンストレーションを体験し、海洋への応用展開が期待される超電導技術の魅力を学びます。	1号館 1階 101-1
	11:45~ 12:15		
	13:15~ 13:45		
	14:15~ 14:45		
	15:15~ 15:45		

※1 海洋資源エネルギー学科の体験学習は予約制です。（各回12名）
 参加される方はOCANsよりプログラムの予約をお願いいたします。（空きがあれば、当日申込も可能です）

海洋資源環境学部

【海洋資源エネルギー学科②】

イベント等	時 間	内 容	会 場
オープンラボ	11:00~ 11:40	2次元反射法地震探査システムの見学ツアー (事前予約制・各回12名) ※1 鶴我 佳代子 准教授	集合場所 2号館 1階 100A・100B 教室前
	14:00~ 14:40	「教育研究紹介」において、スライド・ポスター等による研究室紹介「地震波で地下を診る」も行います。	
教育研究紹介	10:00~ 16:00	海洋資源エネルギー学科の教育研究紹介 海洋資源エネルギー学科教員・学生	2号館 1階 100A・100B 教室
担当教員		タイトル	
海域地震学研究室 (中東教授)		海底地震観測で分かること	
海洋気象学研究室 (竹山准教授)		洋上風力発電に資する風況把握の説明	
海洋地盤工学研究室 (谷教授・野村准教授)		海洋地盤工学研究室の研究紹介	
デバイス工学研究室(井田教授)		超伝導発電機／モータの紹介	
海底探査・地下モニタリング研究室 (鶴我准教授)		地震波で地下を診る	
沿岸域工学研究室 (岡安教授・稲津准教授・吳助教)		沿岸域工学研究室の研究紹介	
応用情報学研究室 (宮本教授・内田教授)		水中生物からマイクロプラスチックまで海洋調査手法の紹介	
海洋数理工学研究室 (上野教授)		海洋における諸現象の数理解析と解説	
海洋生物音響学研究室 (三島助教)		イルカの鳴音研究の紹介	
海洋音響計測学研究室 (甘糟教授)		音波を使った海洋生物の調査手法の紹介	
海洋システム制御工学研究室 (戸田教授)		海洋システム制御工学研究室の研究紹介	
海洋底地球科学研究室(古山助教)		海洋地質学・炭酸塩地球化学からわかること	
海洋環境化学工学研究室 (淵田准教授)		海底鉱物資源開発に関する研究紹介	

※1 海洋資源エネルギー学科のオープンラボは予約制です。(各回12名)
参加される方はOCANsよりプログラムの予約をお願いいたします。(空きがあれば、当日申込も可能です)

【個別相談・資料配布】

○教員・学生による個別相談、資料配布・過去問閲覧

時間	内容	会場
13:00~16:00 (10:00~16:00)	各学科の教員と学生が個別に大学の教育研究内容や学生生活についての質問などにお答えします。 また、学科パンフレット等の資料配布や本学の入試過去問題の閲覧ができますので、ぜひお立ち寄りください。 (資料配布・過去問閲覧は10:00~16:00)	楽水会館 1階 大会議室

○入試相談

時間	内容	会場
13:00~16:00	入試に係る質問について、入試課職員が個別にお答えします。	楽水会館 2階 小会議室

【「学部学科紹介」動画上映】

時間	内容	会場
10:00~16:00	海洋生命科学部・海洋資源環境学部全学科の紹介動画を上映いたします。 海洋生命科学部：31番講義室 海洋資源環境学部：35番講義室	講義棟 3階 31番・35番講義室

【大学生協・休憩所】

時間	内容	会場
11:00~14:00	提供メニュー：ラーメン、うどん、定食等	生協食堂 食堂部
10:00~16:00	飲み物、書籍、大学グッズ等を販売しています。	生協食堂 購買部
10:00~16:00	食事や休憩場所としてご利用ください。	講義棟 2階 21番講義室 3階 33番講義室

【施設見学】

○学生寮（朋鷹寮）見学会

時 間	内 容	会 場
13:00~16:00 受付時間 13:00~15:40	寮生及び事務職員が寮生活に関する質問にお答えします。 居室見学を希望される方は、 当日、多目的ホール内受付でお申し込みください。 ※希望者が多数の場合、お待ちいただく可能性がございます。 ※男性は、男子寮のみの見学となります。	学生寮（朋鷹寮） 1階多目的ホール

○グローバルコモン

時 間	内 容	会 場
10:00~16:00	グローバルコモンは語学学習スペースです。 書籍、CD、映画DVDなど様々な学習ツールのほか、自習用の個人ブース及びスピーキング練習用の防音ブースがあります。 また、小規模なセミナースペースは、英会話レッスンや海外派遣プログラムの事前研修に活用されています。 自由に見学することができます。 ご質問にはスタッフが答えいたします。	大学会館 2階 グローバルコモン

○附属図書館

時 間	内 容	会 場
開館時間 9:30-16:00 館内案内 ①11:00~11:30 ②12:30~13:00 ③14:00~14:30	図書館館内案内ツアー（会場先着順・各回10名） <ul style="list-style-type: none">・開館時間中は自由に見学・利用することができます。・館内案内ツアーを3回行います。各回先着10名程度、予約不要、希望の方は開始時間に図書館2階カウンター前に集合してください。・1階ラーニングコモンズにて、海洋政策文化学科の模擬講義やオープンゼミ等が行われます。	附属図書館

○マリンサイエンスミュージアム

時 間	内 容	会 場
①10:00~11:00 ②11:00~12:00 ③12:00~13:00 ④13:00~14:00 ⑤14:00~15:00	施設見学（事前予約制・各回80名） マリンサイエンスミュージアムの開館を行います。 <ul style="list-style-type: none">・展示スペース（2階）への入場には事前予約が必要です（各回で定員を設けます）・同伴者のみでの入場はできません。・展示スペース2階では、常設展に加え、特別展「超深海へのトビラ 私たちが拓いた調査の軌跡」を実施しています。・自由見学となり、学芸員によるガイド、解説は行いません。・展示スペース1階、鯨ギャラリーは予約不要で見学できます。 （開館時間 10:00~15:00）	マリンサイエンス ミュージアム

MEMO

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7
問い合わせ先： 入試課入試第一係
E-mail n-nyusi1@o.kaiyodai.ac.jp
TEL 03-5463-0510
ホームページ： <https://www.kaiyodai.ac.jp/>
東京海洋大学 海洋生命科学部・海洋資源環境学部

